

- 1 日時 令和6年 11月 7日(木) 第4校時
- 2 学年 第5学年 1組 30名
- 3 単元 「自動車工業のさかんな地域」

4 単元について

○ 教材観

小学校学習指導要領社会科の第5学年の目標には、「工業生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして工業生産を支えていることを理解すること」や、「工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業製品の改良などに着目して、工業生産の概要を捉え工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現する力を育てるようにすること」が示されている。これを受けて、本単元では、自動車工場で働く人々は優れた製品を生産するために様々な工夫や協力をしていること、自動車生産には様々な工場が関連していること、我が国の自動車生産は優れた技術を生かして消費者の需要や社会の発展に応える研究開発などの努力を行っていることなどを基に、工業生産に関わる人々の工夫や努力について理解することを大きなねらいとしている。また、自動車生産は、SDGs、高齢社会、科学技術の発達、多様性と共生など、消費者の願いや社会の変化と密接に関係していることを学んでいく。

○ 児童観

本学級の児童は、全体的に落ち着いていて、真剣に授業に取り組んでいる。グループワークやペアワークの際には、周りの友達と話し合ったり、教え合ったりしながら自分の考えを深めている様子が見られる。社会科の学習について行ったアンケートでは、約7割の児童が、社会科が好きであった。児童は新たな発見ができることや、それによって知見が広がることに喜びを感じ、提示された資料に興味をもちながら積極的に学習している。一方で、社会科に苦手意識をもつ児童もいる。資料を読み取ることや、調べたことをまとめる学習に難しさを感じている。

○ 指導観

児童はこれまで、日本の工業の特色や工業が人々の暮らしを支えていることについて学んできた。本単元では、日本で盛んな自動車産業について学習していく。指導にあたっては、グラフや地図、画像、動画などの資料を読み取る活動を通して、社会的な見方・考え方を働かせる力を養わせたい。そのために、グループワークを取り入れながら課題に基づいて、問題解決的な学習過程を充実させていく。また、グラフを活用した授業をするときは、グラフのタイトル、縦軸や横軸、単位をひとつひとつ確認しながら進めていくことや、まとめの時間に書き出しを指定すること、必須の単語を可視化できるようにする等を工夫しながら進めていく。

5 単元の目標

我が国の自動車生産について、製造の工程、工場の協力関係、優れた技術などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、まとめることで自動車生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現する。それらを通して、自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、自動車生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習課題を追及・解決しようとする態度を養う。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
① 自動車製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などについて地図帳や各種の資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、自動車生産に関わる人々の工夫や努力を理解している。 ② 調べたことや図表や文などにまとめ、自動車生産に関わる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な努力をして、自動車生産を支えていることを理解している。	① 自動車の製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目して、問いを見だし、自動車生産に関わる人々の工夫や努力について考え、表現している。 ② 自動車生産の仕事の工夫や努力と消費者の需要や社会の変化を関連付けて、自動車生産に関わる人々の働きを考え、適切に表現している。	① 自動車生産について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追及し、解決しようとしている。

8 本時の目標と評価規準

【目標】海外で現地生産が盛んなことを理解し、現地生産のよさについて考える。

【評価規準】

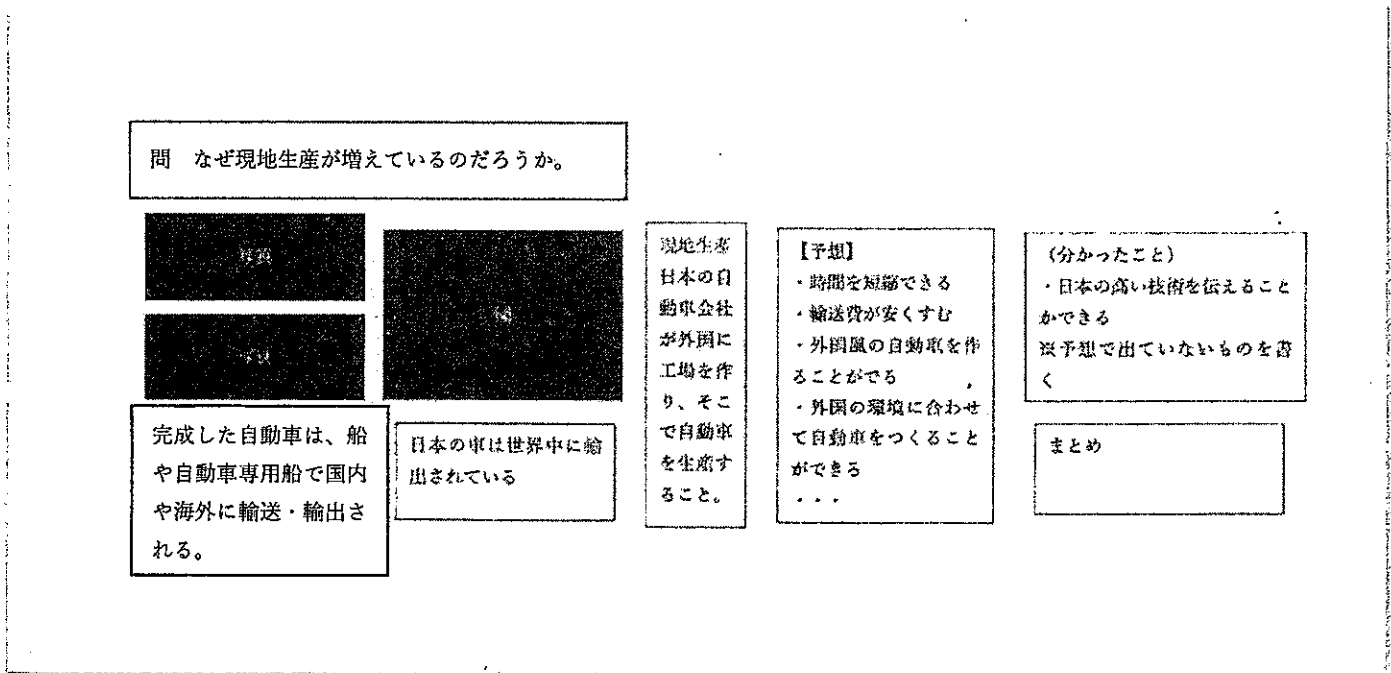
- ① 海外で現地生産されていることを理解することができる。(知識・技能)
- ② 自動車の現地生産のよさについて考えることができる。(思考・判断・表現)

9 本時の学習展開

学 習 活 動	■教師の働きかけ	□評価	☆準備物
1. 前時の振り返りをする。 2. 完成した自動車がどのようにして消費者に届けられているか確認する。 3. 輸出台数と現地生産概数のグラフから問いをつくる。 ・日本の自動車が売れなくなったのかな ・日本以外でつくっているのかな	■自動車がキャリアカーや、船で出荷される写真を見せ、完成した自動車がトラックや船で日本や世界に運ばれることを確認させる。 ☆資料①資料② ■「運ばれている先は日本だけかな？」などと問い、日本の自動車の輸出先の資料から、世界中に輸出されていることをとらえさせる。 ☆資料③ ■日本の自動車の輸出台数が減っているグラフと、海外販売台数が増えているグラフを提示し、どうして海外販売台数は伸びているのに、輸出台数は停滞しているのか、考えさせる。 ☆資料集のグラフ ☆トヨタの海外販売台数のグラフ ■現地生産台数グラフを提示し、現地生産台数が増えていることに気付かせる。 ☆資料集のグラフ ■「現地生産」という言葉をおさえ、海外に工場を作って販売していることを理解させる。 □海外で現地生産されていることを理解している。		

なぜ現地生産が増えているのだろうか	
4. 問いに対する予想を立てる。 ・輸送費が安くなる ・はやく届けることができる ・部品が安い	■自動車が届くまでの時間を短縮することができることや、輸送費が安くなること以外にも、現地の地形やその国の人の好みに合わせて自動車を作ることができることや、現地で働いている人を雇ったり、日本の技術を伝えたりすることで現地の産業が発展するよさにも気付けるように資料を提示する。 □現地生産のよさについて考えている。
5. ビデオを見て、現地生産のよさを知る。	■予想したことを映像で確認することで、より現地生産のよさを理解できるようにする。
6. 本時の問いに対するまとめをする。	■本時で学んだことを自分の言葉でまとめる。
〈児童のまとめの例〉 車を現地生産することで安く、早く、その国の人の好みに合わせて作ることができる。また、その国の仕事を増やしたり、日本の高い技術を伝えたりすることができる。	

10 板書計画



11 参考資料 (出典)

- ・クルマこどもサイト | トヨタ自動車株式会社 公式企業サイト (2024/11/1) <https://global.toyota/jp/kids/>
- ・自動車の海外生産 | NHK for school (2024/11/1) https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005310992_00000
- ・社会科資料集 水谷泰三 株式会社文溪堂 (2024)
- ・トヨタ企業サイト | トヨタ自動車 75 年史 (2024/11/4) https://www.toyota.co.jp/jpn/company/history/75years/data/automotive_business/sales/sales_volume/overseas/index.html